

官民共創の新しいまちづくり協議会 議事概要

会議名	第 8 回伊那北駅周辺再生ワーキンググループ (WG)			
開催日	2025 年 4 月 27 日(日)			
開催時間	開会	9 : 00	閉会	10 : 20
開催場所	田畑事務所			
出席者				
協議会・WG メンバー	田畑和輝氏、高橋明星氏森 蔵之助氏（伊那北高校 3 年生）			
事務局・職員	建設部 都市整備課 辰ノ口課長補佐、田尻			
関係者	森蔵之助氏（伊那北高校 3 年生）			
欠席者	—			
議事	1、伊那北駅周辺整備基本構想について			

議事項目	概要	次のステップ
1、伊那北駅周辺整備基本構想について		
伊那市より、資料について説明	○WG メンバー ・ 今後、伊那北高校、弥生ヶ丘高校、上農高校の生徒に基本構想を説明し、アンケート調査、高校生との「対話・つながり・実現の場」の実施を予定。 ・ 在学中の高校生も関わりを持つことで、当事者として意識してもらいたい。 ・ 市で伊那北駅の人流調査を実施し、利用者の 85%が高校生であることをデータとして把握した。 ・ 基本構想として、A 案で進めることで JR 東海にも了承を得ている。現状は駅の位置を決めるための図面であり、多目的スペース等は今後、意見を収集していきながら固めていく。 ○WG メンバー ・ 駅前広場には仮設でチャレンジショップや上農高校の新製品販売等ができる場を設けても面白い。 ・ 高校生の意見として、自習室（机）を求める声は多いが、交流の場にはならない。それだけの場を設置することがまちづくりの視点等から地元理解を得られるか。 ○WG メンバー ・ 電車の停車位置が変わらないとなると、二条踏切の閉まっている時間は変わらないため渋滞の解消には繋がらないのではないかと。	・

	・自習室はすでいくつかある上に、新校内にも設置される予定。新たに駅前に増やす必要はないと考えている。 ○WG メンバー ・チャレンジショップ等の設置については、今後駅前広場を検討していく中で考えていく。 ・電車の停車位置については、JR 東海の規定等もあり、制限があることをご理解いただきたい。 ○WG メンバー ・高校生の文化部として、何が求められているのか。 ・部活の地域移行が進む中で、大人とのつながり、まちの美化、まちづくり等の活動ができる部活の需要もあるのではないか。 ○WG メンバー ・高校生はそこまで考えていない子が多い。 ・あくまで大学進学に向けた準備、勉強が主であり、探究活動への意識は少ない。探究学習への意識が強い生徒は、大学入試の加点要件として重要視する大学が増えてきていることへの対策として考えている傾向がある。 ○WG メンバー ・伊那北 WG の活動の中で、駅前で大型スクリーンやトレーラーを貸し切り、野外で高校生が集まり、考え、交流する場があっても面白いと思う。 ・WG の熱量が高校生に受け入れてもらえるかが課題と考える。 ○WG メンバー ・関心、反応がある生徒は一定数いると思うが、大多数の生徒が当事者意識を持つことは難しいと感じる。 ○WG メンバー ・中学校の探究授業から関わり、意識付けをしていかなければ、高校生になって急に興味を持つことは難しい。 ○WG メンバー ・今の子どもたちは昔のまちなみ、賑わい等の歴史を知らないため、今の姿が当たり前と感じている。まちの歴史から今後のまちづくりへのつながりを知ることができる短い動画を作成できないか。作成後はケーブルテレビで放送する等、広く地域住民にも知ってもらい、動きに拍車をかけたい。	
--	--	--

	・自身のまちなかの原風景は昭和のにぎわいのある景色であり、若い世代にもそういった風景を知ってもらい、にぎわいを復活させられれば嬉しい。 ○WG メンバー ・伊那北駅周辺整備の文字だけを見ると駅舎に重きを置かれがちだが、WG で考えるべきことは駅舎そのものの設計ではなく、駅前広場の活用や地域のかかわりをどうすべきかに重きを置くべきである。 ○WG メンバー ・10月25日（土）実施を検討しているイベントにかかる歩行者天国の実施について、白川タクシーや伊那バス等と市へ説明し、伊那北駅前からきたっせ前までの道路は、一般車の送迎場所等の課題をクリアにできれば実施可能であることが分かった（封鎖時間は午前9時から午後4時まで）。 ・昔を知っている地域のキーパーソン（フランセ板屋、にんべん酒店等）にも外からではなく、今の若者へ想いを伝承する等、内から関わってほしい。 ○WG メンバー ・西町はチャレンジショップ等、安く貸し出している店舗が多いが、山寺区の意見としては、地元出身者であれば貸し出してあげたいという気持ちがある。 ・山寺区出身者で出店意欲のある人がいても、その状況を知らないだけではないか。 ・高校生たちは地元のまちがいいのか、都会がいいのか、何を求めているのかを考えていく必要もある。 ○WG メンバー ・若い世代が都会に憧れる気持ちも理解できる。いずれ帰ってきてくれればとも考えるが、なかなか帰ってきてもらえていない現状もある。 ・いずれは帰ってきたいと思えるまちにしていきたい。 ○WG メンバー ・多くの人は車での移動が主となるが、高校生には、学生（若者）という視点だけではなく、歩行者としての意見も伝えてもらい、同じく歩行が中心となる高齢者との意見の同異等も照らし合わせていきたい。 ○WG メンバー ・今後の探求的な活動として、まちあるきマップの作成を検討しているが、その先の活用はまだ見えていない。 ○WG メンバー	
--	---	--

	・市がインテックと連携して実施した地域幸福度可視化アプリを活用しても面白いと思われる（人の想い、願い、感覚をマップに落とし込む等）。市内の最新の状況等を確認する。 ○WG メンバー ・10月のイベント時に広く開放し、多くの人の意見を収集できればより面白くなる。ぜひ活用してもらいたい。	
--	---	--